



す 舞 る

special support smile 舞 鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀 4 の 1 (〒624-0812) ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

今年度もボランティア養成講座並びに夏季研修講座を次のように計画しました。また、昨年度実施しました「相談支援スキルアップ研修講座」につきましては、「相談支援チーム会議&シンポジウム」と名称を変更しています。「各ライフステージにおける支援の現状と移行」について考える機会にしたいと考えていますので、多くの関係機関の皆様にご参加いただきたいと思います。

なお、申し込み方法につきましては、所定の用紙に必要事項を記入していただき、郵送又は FAX で御提出ください。申込書は本校のHP（舞鶴支援学校で検索）からダウンロードができます。

(ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s>)

申込先 舞鶴支援学校（トータルサポートセンター）
住 所 舞鶴市字堀 4-1 TEL 0773-78-3133
FAX 0773-78-3135

平成 26 年度地域研修支援「夏季研修講座」等の開催計画

◇舞鶴市障害児者地域生活サポートボランティア養成講座（舞鶴市社会福祉協議会との共催）

目 的 平成 26 年度京都府立特別支援学校ボランティア活動推進事業実施要項に基づき、障害のある人の地域生活をサポートするボランティアを養成し、舞鶴市社会福祉協議会及び京都府立舞鶴支援学校等、市内関係団体主催の障害児者の行事や活動にボランティアとして積極的に活動していただく。

日 時 7月 24 日（木） 13:00~17:00

会 場 中総合会館（舞鶴市字余部下 1167）

定 員 30 名

内 容 講義「ボランティア活動を始める前に」「特別支援教育と障害について」「肢体障害児者の介助」
体験活動 ※体験活動は 9 月 27 日の本校体育祭実施日に設定しています。

講 師 舞鶴市社会福祉協議会職員、本校教諭

受講料 無料

◇夏季研修講座「子どもが喜び、力をつける“読み書き指導”の展開」

目的 子どもの認知を踏まえた効果的な「読み書き指導法」を身につけ、すべての子どもたちに学ぶ意欲と楽しさを身につけるとともに、“読み書き授業におけるユニバーサルデザイン”を実現するための一助とする。

日時 8月8日（金） 午前の部 9：00～12：00（受付 8：45）
午後の部 13：30～16：30

会場 本校 会議室

対象 保育所・園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

定員 午前・午後 各 50 名

内容 **午前の部「文字の獲得と読み書き」**

○表音文字としての「ひらがな」の認識過程（表意文字として獲得させる方法等）

○ひらがな・カタカナの獲得と練習法（多層指導理論MIM、4点指導法他）

○視覚的語彙と音読（音読と脳の関係、見え方を探る、効果的な練習法等）

○ことば・文字を育てる具体的教材（楽しく遊ぶように学び、意欲が育つ教材の数々）

午後の部「子どもの認知に沿った漢字学習と記憶のメカニズム」

○漢字はどのように見えているのか、漢字の見方・見え方と視点の与え方

○記憶と脳について（繰り返し練習を劇的に減らす方法）

○テストと習熟（入力型学習と出力型学習について）

○漢字学習が楽しくなる、漢字が好きになる具体的教材

講師 淀井 泉（本校教諭・TSC地域支援コーディネーター）

◇相談支援チーム会議&シンポジウム「各ライフステージにおける支援の現状と移行」

趣旨 本校相談支援チームのメンバーが一堂に会し、支援地域における各ライフステージの支援状況を確認するとともに、移行等を含む課題について協議する。

また、地域の支援力の向上を目指し、関係機関からの参加も得て相談支援システムやネットワークの構築に向けた協議の場とする。

日時 8月20日（木） 13：00～17：00（受付 12：45）

会場 本校 会議室

対象 相談支援チーム委員及び関係機関の職員

テーマ 「各ライフステージにおける支援の現状と移行」

内容 ●相談支援チーム委員からの発言（依頼中）

幼児期の支援（中丹東保健所、舞鶴市子ども未来室、こども発達支援施設さくらんぼ園）

就学期の支援（小学校通級指導教室、中学校通級指導教室、舞鶴支援学校）

卒業後・家族の支援（舞鶴公共職業安定所、生活支援センターみずなぎ、発達障害者中丹圏域支援センター）

●本校相談支援チーム専門家委員からの提言（依頼中）

●協議（参加していただいた皆様からも御発言をいただきます）